

FILCO

藍芽無線鍵盤

Bluetooth Keyboard

FILCKTLBT2-33

FILCO®



Majestouch Convertible 2

コンバーチブル

テンキーレスモデル

保証書

この保証書は製品が万が一故障した場合、ご購入頂いた日から12ヶ月間の保証を行うものです。製品の初期不良はご購入日から1週間とし、初期不良と認められた場合は商品を交換します。保証期間内で初期不良と認められない場合は製品を修理します。

1)保証書に販売店捺印、購入年月日の記入がない場合は無効となります。2)保証書は日本国内のみで有効です。3)本製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、当社はその責任を負いかねます。4)保証期間内でも次のような場合は有償での修理となります。A)通常の使用以外の操作で発生した場合の故障または損害。B)改造されたり不当な修理をされたことに起因する故障または損害。C)お買い上げ後輸送されたことに起因する故障または損害。D)地震、風水害そのほか不測の事故による損害。E)本保証書を提示されない場合。F)保証書の所定事項の未記入、訂正された場合。

保証期間	お買い上げ日	年	月	日	より 12ヶ月間
販売店印		お名前(会社名)			
		ご住所			
		電話番号			
		E-Mail			
■販売店様へ お客様へ商品をお渡しする際は、必ず販売日をご記入の上貴店印をご捺印ください。 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償保証が受けられません。					

発売元  **ダイヤテック株式会社**

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-5-4 偕楽ビル(外神田)4F
Kairaku Bldg(Sotokanda)4F, 6-5-4 Sotokanda, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0021, Japan
URL <http://www.diatec.co.jp/>

- Microsoft Windowsは米国マイクロソフト社及びその他の国における登録商標です。Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.
- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。Bluetooth is a trademark of Bluetooth SIG, Inc.
- FILCOはダイヤテック株式会社の登録商標です。FILCO is a registered trademark of DIATEC CORPORATION.

取扱説明書

◆使用上の注意点.....	2
◆お問い合わせ窓口.....	2
◆システム要件.....	3
◆製品紹介.....	3
◆各部の名称と付属品.....	4
◆スイッチ・LEDの機能.....	5

接 続 す る	
◆接続方法を選ぶ.....	6
◆パソコンと有線接続する.....	6
USB接続.....	6
USB接続時のLED点灯パターン.....	6
◆パソコンと無線接続する.....	6
Bluetooth接続.....	6
Bluetooth接続の流れ.....	7
Bluetooth接続時のLED点灯パターン.....	7
手順① キーボードをペアリングモードにする.....	8
手順② Bluetoothデバイスのセットアップ（ペアリング）.....	9
Windows XP/Vistaの場合.....	9
Windows 7/8/8.1/10の場合.....	9
手順③ 2台目以降の登録.....	11
◆Bluetoothデバイスの変更と削除.....	11
接続先デバイスの変更をしたい時.....	11
登録済みのデバイス情報を削除したい時.....	11
登録済みのデバイス情報を別の登録キーに変更したい時.....	12
USB接続・Bluetooth接続の優先順位、関係について.....	12
無線接続時のUSB給電開始方法.....	13
無線接続中に有線接続に切り替える.....	13
その他.....	14

使 用 す る	
◆DIPスイッチによるキーファンクション変更操作.....	15
◆メディアキーによるデバイス操作.....	15
◆Windowsスリープスタンバイモードの移行・復帰.....	15
◆無線接続時の省電力モード.....	16
◆キー印字・キー配列と配列の変更について.....	16
US ASCII準拠配列 英語キーボードについて.....	16
日本語キー配列への設定変更.....	16
英語キー配列への設定変更.....	17
◆iPad・iPhoneに接続して使用する場合.....	18
英語配列のキーボードとして認識された場合のキー配列図.....	18
◆トラブルシューティング.....	19
(E) English : User manual.....	20
(C) 中文(簡) : 使用说明书.....	35
(TW) 中文(繁) : 使用說明書.....	46
(KR) 한국어 : 사용설명서.....	57

このたびはFILCO Majestouch Convertible 2をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本書記載事項をよく読んでご使用下さい。

◆ 使用上の注意点

- ・ セットアップ作業を行う際は、管理者権限を持つユーザーでログインして下さい。
- ・ 本製品は一般的なオフィスや家庭での使用を目的としています。本製品を人命が直接的・間接的に関わる医療機器や金融システム、電算機システム、原子力関連施設等、高い安全性・信頼性が求められる環境下、及び直接的な防衛軍事目的では使用しないで下さい。損害等発生した場合弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 本製品の故障、不具合、通信不良や、停電など外的要因、第三者による妨害などの要因によって通信の機会を逃したために損害等発生した場合弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 第三者による通信内容の傍受、情報の漏洩、改竄、破壊などによって損害等発生した場合弊社は一切の責任を負いません。

通信についての注意点

- ・ 見通しのいい場所で通信して下さい。建物の構造や障害物によっては通信可能距離が変わる場合があります。また鉄筋や金属、コンクリートを挟むと通信できません。
- ・ 通信中に障害物の陰や電波の届かない範囲に移動すると、通信が途中で途切れる場合があります。
- ・ AV機器やOA機器などから2m以上離れて通信して下さい。また電子レンジからは影響を受けやすいので3m以上離れて通信して下さい。正常に通信できない場合があります。
- ・ IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、近くで使用すると電波障害が発生し、通信速度が低下したり接続できなくなる場合があります。この場合は使用しない機器の電源をお切り下さい。
- ・ 本製品や他のBluetooth機器が発する電磁波の影響により、音声や映像にノイズが発生する場合がありますので、テレビやラジオなどの近くで接続しないことをおすすめします。

安全のために

- ・ 電池の使用について
 - ・ 小さいお子様の手の届かない場所で保管して下さい。
 - ・ 電池に熱を加えないで下さい。また分解したり水中に投入しないで下さい。
 - ・ 古い電池と新しい電池を組み合わせで使用しないで下さい。また異なる種類の電池（マンガン電池とアルカリ電池など）を組み合わせで使用しないで下さい。
 - ・ 古くなったり電力が弱くなった電池は使用を中止し、お住まいの地域の条例および法令に従って処分して下さい。
- ・ キーボードの取り扱いについて
 - ・ 落下などにより思わぬ事故となる場合がありますので、平らで滑らない場所を選んで設置して下さい。キーボードは精密機械であり、内部に電池や変圧装置を含みます。飲み物などの水分が内部に侵入しないようお取り扱いに十分ご注意ください。
 - ・ 分解、改造はしないで下さい。なお保守用ラベルをはがすなど分解や改造の痕跡が見られた場合、保証規定の内容が適用されません。
 - ・ 以下の環境下では使用を中止、もしくは使用しないで下さい。電波が影響を及ぼし誤作動による事故の原因となるおそれがあります。
 - ・ 心臓ペースメーカーの近く
 - ・ 医療機関内、医療用電気機器の近く
 - ・ 航空機内
 - ・ 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合
- ・ 本製品は購入国内での使用を前提に保証を規定しています。日本国内で販売店を通じて購入した場合はダイテック株式会社、海外代理店を経由して購入した場合は代理店の定める保証規定が適用されます。また本書の保証書は日本国内でのみ有効です。

健康についての注意点

マウスやキーボード、トラックボールなどを長時間操作すると、手・腕・首・肩などに負担がかかり、痛みやしびれなどの症状を感じる場合があります。そのまま操作を続けたり、繰り返ししたりしていると深刻な障害を引き起こす可能性もあります。上記のような症状を感じた時は、ただちにマウスやキーボードなどの操作を中止し、場合によっては医師に相談することをおすすめします。
また日常のパソコン操作時には定期的に休憩を取るなどして、手・腕・首・肩など身体に負担がかからないよう心がけましょう。

◆ お問い合わせ窓口

ご使用中のお気づきの点、万が一問題が発生したときのお問い合わせは、以下の窓口をご利用ください。

お電話でのお問い合わせ (サポート専用ダイヤル)	ホームページからのお問い合わせ (お問い合わせフォーム)
03-5688-5778 9:00~12:00、13:00~17:00 (弊社指定日、年末年始、土日、祝日を除く)	https://www.diatec.co.jp/support/#FORM

◆ システム要件

PC：有線接続する場合はUSBポートを持つWindows/パソコン

無線接続する場合はBluetooth HIDプロファイルに対応したWindows/パソコン

OS：Windows XP Service Pack 2以降、Windows Vista、Windows 7/8/8.1/10

Bluetooth接続の場合は、Bluetooth機能が搭載されたパソコンまたはBluetooth受信アダプタが必要です。ただし互換性の問題でまれに接続できない場合があります。全てのBluetooth受信アダプタに対応するものではありません。

※Bluetooth接続のセットアップ操作には動作可能なマウスが必要です。

◆ 製品紹介

2wayキーボード USB有線接続とBluetooth無線接続

■USB接続

同梱のUSBケーブルを使用することにより操作できます。(充電式ニッケル水素電池への充電機能はありません)

■Bluetooth接続

パソコンとの接続方法に省電力性を向上させたBluetooth ver. 3.0 class2技術を採用、ケーブルレス操作環境が可能となります。動作範囲は約10mまでサポートします。パソコンとの接続設定は初回のみ。その後はセットアップする必要なく操作することができます。最大4台のパソコンとの接続が可能で自由に切替ができます。

電池駆動のほか、USBケーブルを利用したUSB給電も可能になりました。

電池駆動時は30分キー操作をしなければ自動的に省電力モードに移行し、消費電力を節約します。



FR-4の2層基板

基本性能をより充実にするため新しくFR-4（ガラスエポキシ基板）の2層基板を採用しました。

全スイッチ端子のスルーホールを半田でしっかりと固定し、打鍵時に発生する負荷と振動を鉄板にだけでなく基板側でも逃がす事が可能となり、耐久性・信頼性・打鍵感の向上を実現しました。

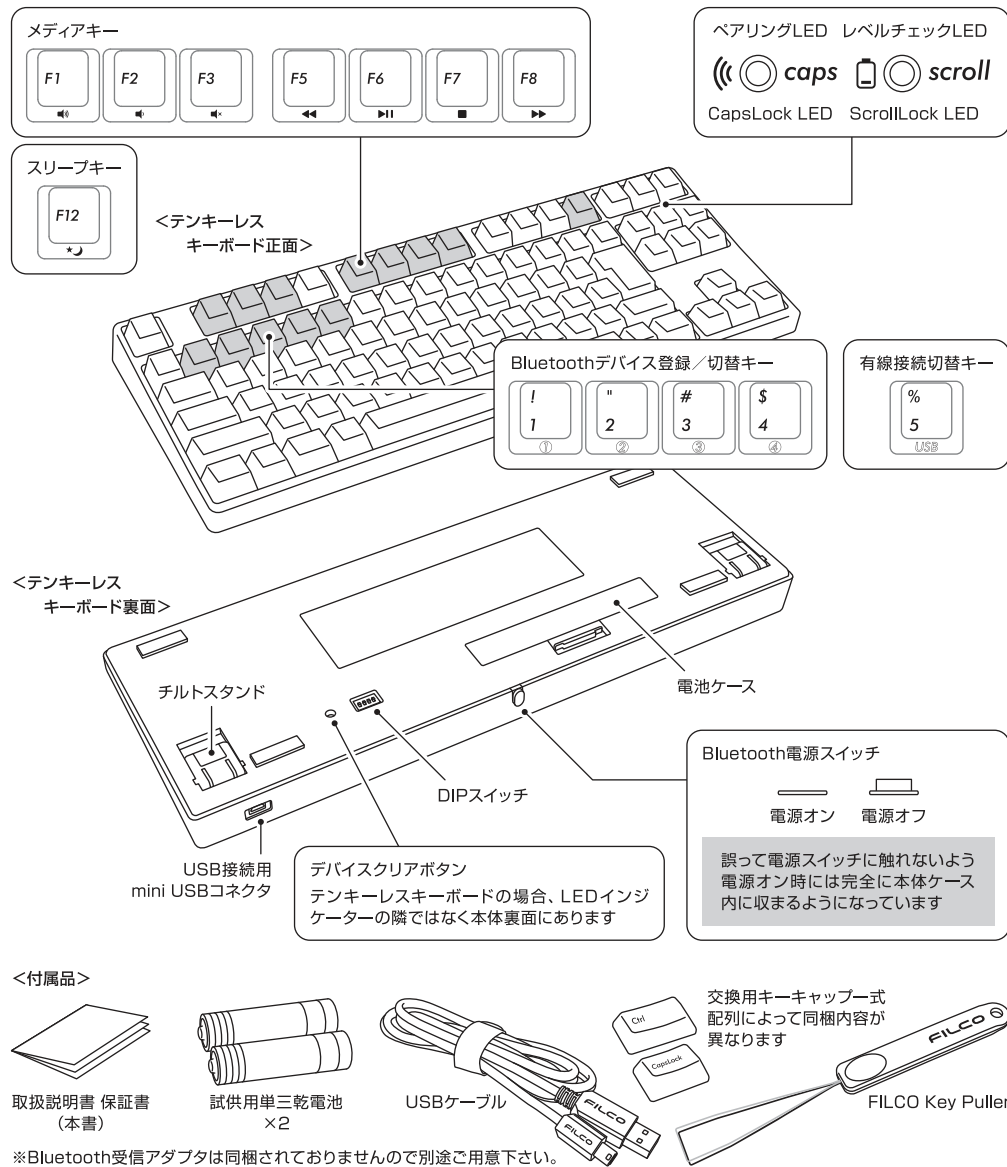
Cherry MXキースイッチ採用

Cherry MXキースイッチとは、ドイツ・ZF Electronics社（旧Cherry社）のメカニカルスイッチです。キーは、ストローク約4mmと一般的なキーボードと比較し深く、接点は約2mm押し下げた位置にあるため動作に余裕がある設計です。本製品はキーひとつひとつに独立したスイッチを搭載しているため、軽快なキー動作が得られます。

DIPスイッチによるキーファンクション変更操作

DIPスイッチの設定により「CapsLock」キーと「左Ctrl」キーを入れ替えたり、「Windows」キー・「App」キーをロックすることができます。

◆ 各部の名称と付属品



◆ スイッチ・LEDの機能

Bluetooth 電源スイッチ	本体背面にあります。 Bluetooth接続で使用するときにオンにします。 長時間操作しない場合、パソコンの電源を切っている場合、USB接続の場合 はオフにします。	オン オフ
DIPスイッチ	本体裏面にあります。 キーコードを変更したり無効化したりすることができます。工場出荷時はすべ てオフになっています。詳細は15ページをご覧ください。	ON 1 2 3 4
デバイスクリアボタン	登録を削除・再登録する時に押します。 Bluetooth接続中に押すと登録内容がクリアされ、引き続きペアリングモー ドに移行します。詳細は11ページをご覧ください。	
CapsLock LED 兼 ペアリングLED	- USB接続時 CapsLockキーを有効にすると青色で点灯します。 - Bluetooth接続時 デバイス切替モード時、ペアリングモード時、接続確立時に点灯または点滅 します。点灯パターンの詳細は7ページをご覧ください。	caps
ScrollLock LED 兼 レベルチェックLED	- USB接続時 ScrollLockを有効にすると赤色で点灯します。 - Bluetooth接続時 ①電池を消耗した時に赤色で点滅します。 LEDが点滅した時は速やかに電池を交換して下さい。消耗した電池をその まま使用するとBluetooth接続に必要な電圧が保持できず、動作が不安定 になります。電池を完全に消耗した場合はLEDの点灯・点滅はなく、キー ボードは動作しません。 ※電池寿命：1日5時間使用で約6ヶ月（アルカリ乾電池使用時） ただし電池の寿命は使用環境により大きく異なります。 ②デバイス切替モード時、ペアリングモード時、接続確立時に点灯または点滅 します。点灯パターンの詳細は7ページをご覧ください。	scroll
メディアキー	マルチメディアファンクション Fnキーとの同時押しで、動画や音楽の再生、音量調整などをキーボード上か ら操作することができます。	F1 ~ F8
スリープキー	USB接続中にFnキーとの同時押しで、Windowsスリープスタンバイモー ドの移行/復帰をキーボード上から操作することができます。詳細は15ページ をご覧ください。 ※Bluetooth接続時の復帰動作はBluetoothの仕様上非対応です。	F12
Bluetoothデバイス 登録/切替キー	- デバイス切替モード（※7ページ[Bluetooth接続の流れ]参照）からペア リングモードに移行し、Bluetoothデバイスを新規登録するときに押します。 - デバイス切替モードから接続先デバイスを変更するときに押します。 各キー1台づつ、合計4台のデバイス情報を登録しておくことができます。	1 ~ 4
有線接続切替キー	Bluetooth接続でUSB給電で動作している場合、デバイス切替モードから 有線接続に切り替えるときに押します。	5 USB

【CapsLock、ScrollLockのLED表示について】

Bluetooth接続時は電池駆動中・USB給電中ともに、CapsLock・ScrollLockが有効でもキーボード本体には表示されません。

接続する

◆ 接続方法を選ぶ



◆ パソコンと有線接続する

USB接続（上図ア）

同梱USBケーブルを使用することにより操作できます。（充電式ニッケル水素電池への充電機能はありません。）

USB接続したままパソコンの電源をオンにした場合は一打目でUSB接続キーボードとしてパソコン側に認識され、二打目から操作可能となります。USB接続とBluetooth接続共用のための仕様です。

※ USB接続では電池は必要ありません。長期間USB接続で使用する場合は、電池を取り外してください。

※ USB接続ではBluetooth電源スイッチをオフにして使用してください。

USB接続時のLED点灯パターン

モード・操作	LED点灯パターン
USBケーブルを接続した時 ※キーボードのいずれかのキーを押します	交互に約4秒間点滅 点滅終了後に操作可能
CapsLockキーを有効にした時	CapsLock LEDが点灯
ScrollLockキーを有効にした時	ScrollLock LEDが点灯

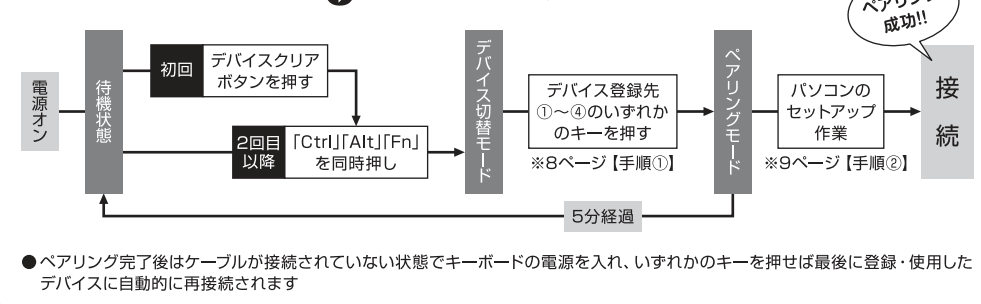
◆ パソコンと無線接続する

Bluetooth接続（上図イ・ウ）

Bluetooth受信アダプタやデバイスに内蔵されたBluetooth機能を利用し、接続設定作業（ペアリング）をすることにより操作できます。本製品にはBluetooth受信アダプタは同梱されていません。市販品をお求めいただき、Bluetooth受信アダプタのセットアップが完了した状態で操作してください。Bluetooth機能が搭載されているパソコンで使用する場合はBluetooth機能をオンにしてください。

また、セットアップ作業は管理者権限を持つユーザーでログインし、クラシックスタートメニュー、クラシックコントロールパネルで操作してください。

Bluetooth® 接続の流れ



給電方法は単三電池を使う方法（左ページ図イ）とUSBケーブルを接続して行う方法（左ページ図ウ）の2つから選べます。

USB給電中にUSBケーブルを外すと自動的に電池駆動に切り替わります。詳しくは12ページをご覧ください。

パソコンのUSBポートからのUSB給電中にデバイス切替モードにして有線接続切替キー（USBキー）を押すと、Bluetooth接続が切断されUSB接続に切り替わります。詳しくは13ページをご覧ください。

USB給電はパソコンのUSBポートのほか、USB-ACアダプタ（モバイル充電器）などからでも可能です。なお、USB給電には充電式ニッケル水素電池への充電機能はありません。

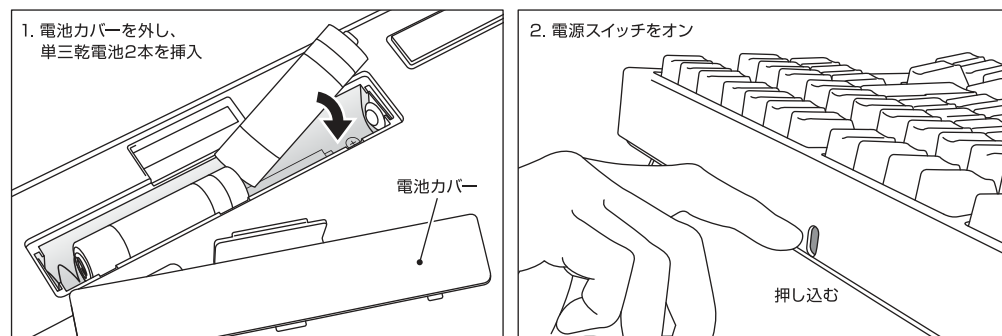
Bluetooth接続時のLED点灯パターン



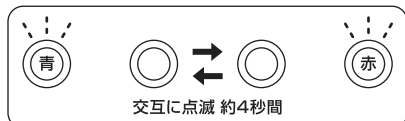
モード・操作	LED点灯パターン
デバイス切替モード ・「Ctrl」「Alt」「Fn」キーを同時押しした時	両方とも同時に点灯 約10秒間
デバイス切替変更表示 ① ・デバイス未登録もしくはデバイス登録済みのBluetoothデバイス登録／切替キー①～④のいずれかを押した時 ・USB給電中に有線接続に切り替えた時 ※13ページ ・デバイスクリアボタンを押した時 ・USBケーブルを接続した時	交互に点滅 約4秒間
ペアリングモード …①が表示された後にペアリングLED(青)が単独で約5分間点滅します ・ペアリングモードが開始された時	ペアリングLEDが点滅 約5分間
接続完了表示 ・ペアリング作業が完了した時 ・Bluetooth接続が確立した時	両方とも同時に3回点滅
通信未接続表示 …①が表示された後にペアリングLED(青)が単独で約10秒間ゆっくりと点滅します ・登録したデバイスが見つからなかった時 ※11ページ ・PC側のBluetoothデバイス登録情報が削除されている時	ペアリングLEDがゆっくり点滅 約10秒間
LOWバッテリー表示 ・電池の残りが少なくなった時	レベルチェックLEDが点滅

【手順①】キーボードをペアリングモードにする

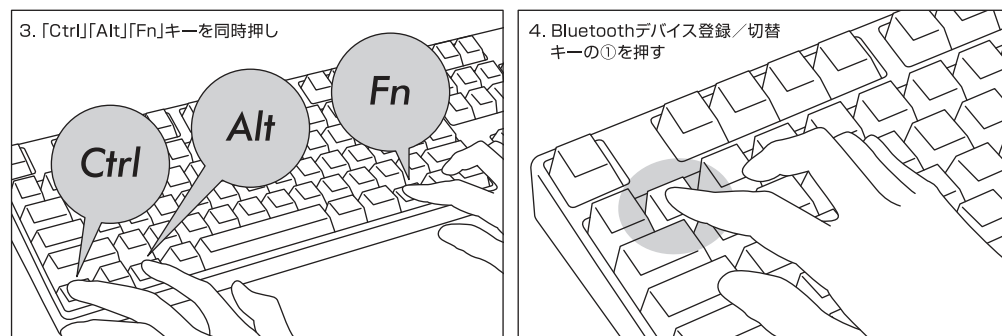
1. キーボードに電池を挿入します。電池ケースの表示に従い、電極の向きを間違えないようにご注意ください。
※ 本製品のBluetooth接続はUSB給電が可能です。初回のBluetooth接続設定は電池駆動の状態で行なってください。接続設定前の有線接続はすべてUSB接続として認識されるためです。
2. 電源スイッチをオンにします。



α. 購入後初めてBluetoothの接続設定する場合
デバイスクリアボタンを押して、ペアリングLED（青）とレベルチェックLED（赤）が交互に約4秒間点滅するかどうかを確認します。
2回目以降はこの項目を省略します。



3. キーボードの「Ctrl」「Alt」「Fn」キーを同時押ししてデバイス切替モードにします。ペアリングLED（青）とレベルチェックLED（赤）が同時に約10秒間点灯します。
4. デバイス情報を登録したい「Bluetoothデバイス登録／切替キー①～④」（下図の場合①キー）のいずれかを押します。



5. ペアリングLED（青）とレベルチェックLED（赤）が交互に約4秒間点滅した後、ペアリングLED（青）が単独で点滅してペアリングモード（パソコンに認識される状態）が始まります。
6. 次ページ【手順②】へ進みます。
※ ペアリングモード中にキー入力されないまま5分以上経過した場合は、ペアリングLED（青）が消灯し、ペアリングモードがキャンセルされて待機状態に戻ります。3. の操作に戻ってやり直してください。

【手順②】Bluetoothデバイスのセットアップ（ペアリング）

Windows XP / Vista の場合

- ※ ペアリングの手順は同じですが画面はOSによって異なります。
1. コントロールパネル>Bluetoothデバイスアイコンをダブルクリックします。
 2. Bluetoothデバイス>デバイス>追加をクリックします。
 3. Bluetoothデバイスの追加ウィザードが起動します。
「セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました」にチェックを入れ、次へをクリックします。
 4. Bluetooth機器を検索します。
「Convertible 2 新しいデバイス」を選択し、次へをクリックします。
 5. バスキーをデバイスに追加します。
「自動的に選択されたバスキーを使用する」を選択し、次へをクリックします。
 6. パソコンとキーボードのバスキーを交換します。
キーボードの数字キーからバスキーを入力して下さい。入力が終わったらEnterキーを押します。バスキーは30秒以内に入力して下さい。
【参考】バスキーを入力するとき、画面に入力状態を示す表示はありません。
 7. バスキーの入力に成功したらBluetoothキーボードがインストールされますのでしばらく待ちます。
もし入力に誤りがあった場合は前の作業に戻り、再度バスキーを入力します。
 8. 「Bluetoothデバイスの追加ウィザードの完了」画面が表示されればセットアップは完了です。画面を閉じます。
 9. ペアリングしたデバイス情報はキーボードに記録されます。ペアリング完了後はキーボードの電源を投入し、いずれかのキーを押すと「サーチモード」になります。ペアリングLEDが点滅し、自動で再接続します。
 10. 設定はコントロールパネル>Bluetoothデバイス>デバイスで接続状態を確認できます。



Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 の場合

1. コントロールパネルを開きます。
2. カテゴリ表示では「ハードウェアとサウンド」の「デバイスの追加」をクリックします。
アイコン表示では「デバイスとプリンター」を選びクリックし、「デバイスの追加」をクリックします。

●カテゴリ表示
ハードウェアとサウンドのデバイスの追加をクリックします。



●アイコン表示
デバイスとプリンターを選択し、デバイスの追加をクリックします。



3. Bluetoothデバイスの追加ウィザードが起動します。
デバイスの追加>このコンピューターに追加するデバイスの選択画面になります。
4. Bluetooth機器を検索します。
「Convertible 2」を選択し、次へをクリックします。

4. (Win7)



4. (Win10)



5. パスコードをデバイスに追加します。
Windows7の場合、ペアリングオプションの画面が表れたら「独自のペアリングコードの作成」を選択し、クリックします。

6. キーボードの数字キーからパスコードを入力して下さい。入力し終わったらEnterキーを押します。パスコードは30秒以内に入力して下さい。

【参考】パスコードを入力するとき、画面に入力状態を示す表示はありません。

7. パスコードの入力に成功したらBluetoothキーボードがインストールされますのでしばらく待ちます。もし入力に誤りがあった場合は前の作業に戻り、再度パスコードを入力します。
Windows 8/8.1/10の場合、パスコードの入力にタイムアウトで失敗すると再ペアリングするときに右図のような「キーボードのパスコードを入力してください」画面が表示されることがあります。画面上の「または、パスコードを接続先のデバイスで入力してください。」をクリックすると新しいパスコードが表示されます。

8. 「このデバイスは、このコンピュータに正常に追加されました」がデバイスの追加画面に表示されればセットアップは完了です。画面を閉じます。
Windows10の場合は自動で画面が閉じられます。
9. ペアリングしたデバイス情報はキーボードに記録されます。
ペアリング完了後はキーボードの電源を投入し、いずれかのキーを押すと「サーチモード」になります。ペアリングLEDが点滅し、自動で再接続します。
10. 設定はコントロールパネル>デバイスとプリンターの表示>デバイスで接続状態を確認できます。

5. (Win7)



6. (Win7)



6. (Win10)



7. (Win10)

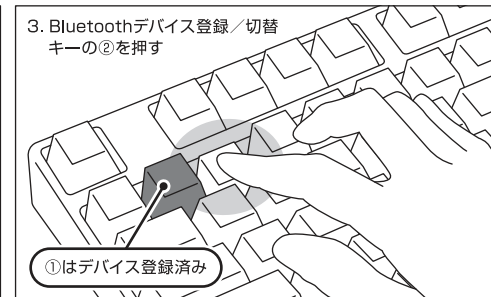
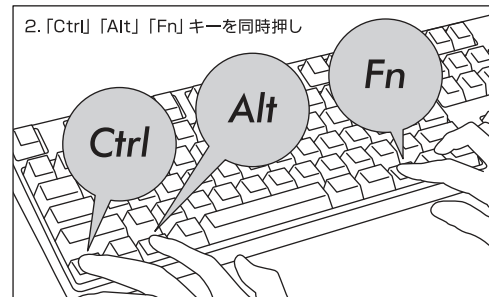


8. (Win7)



【手順③】2台目以降の登録（最大4台登録できます）

1. キーボードの電源が入っていることを確認します。
2. 「Ctrl」+「Alt」+「Fn」キーを同時押ししてデバイス切替モードにします。ペアリングLED（青）とレベルチェックLED（赤）が同時に約10秒間点灯します。
※ Bluetooth接続中にデバイスクリアボタンを押すと、そのときに接続しているデバイスのペアリング情報がクリアされてしまい、上書きされるかたちで新たにペアリングモードが始まります。デバイスクリアボタンを使ってペアリングモードにするときはご注意ください。（デバイスクリアボタンは、テンキーレスの場合本体裏面にあります。）
3. まだデバイス情報が登録されていない「Bluetoothデバイス登録／切替キー」（下図の場合②～④キー）のいずれかを押します。



4. ペアリングLED（青）とレベルチェックLED（赤）が交互に約4秒間点滅した後、ペアリングLED（青）が単独で点滅してペアリングモード（パソコンに認識される状態）が始まります。
5. Bluetoothデバイスのセットアップ（ペアリング）をします。（※9ページ【手順②】）
6. 選択したキーに登録されます。
7. 1～6を繰り返します。

◆ Bluetoothデバイスの変更と削除

接続先デバイスの変更をしたい時

1. キーボードの電源が入っていることを確認します。
2. 「Ctrl」+「Alt」+「Fn」キーを同時押ししてデバイス切替モードにします。ペアリングLED（青）とレベルチェックLED（赤）が同時に約10秒間点灯します。
3. 接続したいデバイスが登録されている「Bluetoothデバイス登録／切替キー」①～④のいずれかを押します。
4. ペアリングLED（青）とレベルチェックLED（赤）が交互に約4秒間点滅します。
接続が確立すると3回同時に点滅します。
5. 接続先が変更され、LED消灯後にキーボード操作が可能となります。
※ ペアリングLED（青）が約10秒間ゆっくりと点滅しその後消灯した場合はBluetooth受信アダプタが接続されていないか、デバイス側のBluetooth機能がオフにされている状態ですので確認して下さい。
※ 3.でデバイスを登録していないキーを押した場合、キーボードはペアリングモードに入ります。2.の操作に戻ってやり直してください。

登録済みのデバイス情報を削除したい時

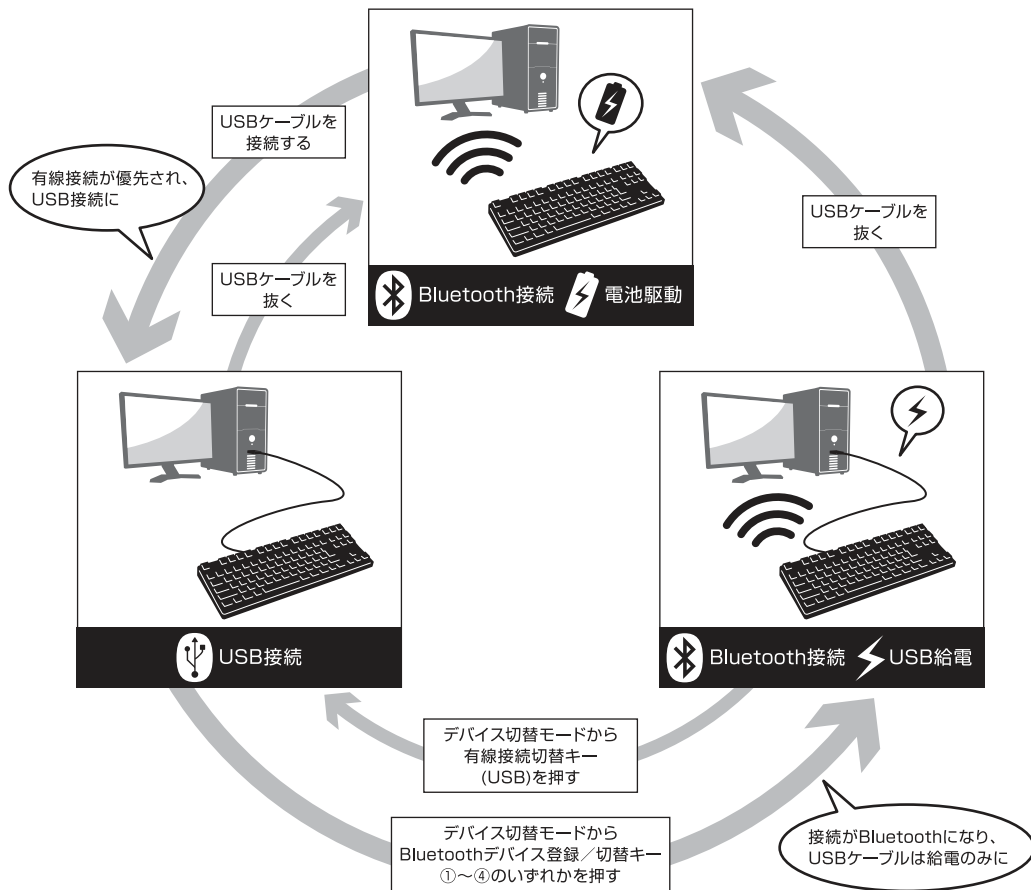
1. キーボードの電源が入っていることを確認します。
2. 「Ctrl」+「Alt」+「Fn」キーを同時押ししてデバイス切替モードにします。ペアリングLED（青）とレベルチェックLED（赤）が同時に約10秒間点灯します。
3. 削除したいデバイスが登録されている「Bluetoothデバイス登録／切替キー」①～④のいずれかを押します。
4. ペアリングLED（青）とレベルチェックLED（赤）が交互に約4秒間点滅します。
接続が確立すると3回同時に点滅します。
5. LED消灯後にデバイスクリアボタンを押します。
ペアリングLED（青）とレベルチェックLED（赤）が交互に約4秒間点滅した後、ペアリングLED（青）が単独で点滅します。
6. ペアリング情報がクリアされ、新たにペアリングモードが始まります。別のデバイスを登録する場合はそのままデバイス側のセットアップ作業を開始します。登録しない場合はキーボードの電源を切ります。
7. デバイス側に残っている登録情報を削除します。
PCの場合、コントロールパネル>ハードウェアとサウンド>デバイスとプリンターから削除したいキーボードのアイコンを選択し、削除をクリックします。確認画面が出ますので「はい」をクリックします。（XP/Vista：コントロールパネル>Bluetoothデバイス>デバイスタブ）

登録済みのデバイス情報を別の登録キーに変更をしたい時

一度キーボード側・デバイス側の両方から登録情報を削除し、別の登録キーに改めて登録しなおす必要があります。「登録済みのデバイス情報を削除したい時」と「【手順③】2台目以降の登録」の項目をそれぞれご参照ください。

USB接続・Bluetooth接続の優先順位、関係について

USB接続はBluetooth接続より常に優先されます。Bluetooth接続中にUSBケーブルの抜き差しなどをした場合、接続状況は以下のように遷移します。

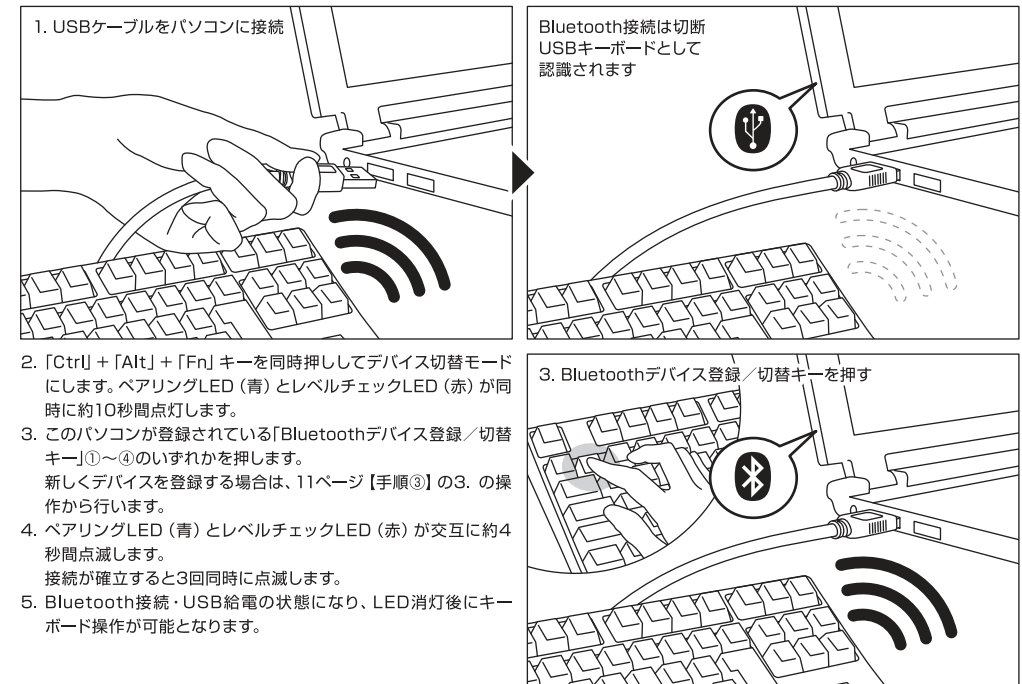


無線接続時のUSB給電開始方法

本製品は電池を使わずUSBケーブルを接続してUSBポートからの給電でBluetooth接続することができます。

但し、Bluetooth接続中のパソコンからUSB給電するには、キーボードを一度USB接続する必要があります。

1. 付属のUSBケーブルでパソコンに接続します。ペアリングLED (青) とレベルチェックLED (赤) が交互に約4秒間点滅します。Bluetooth接続が切断され、USB接続のキーボードとしてパソコン側に認識されます。

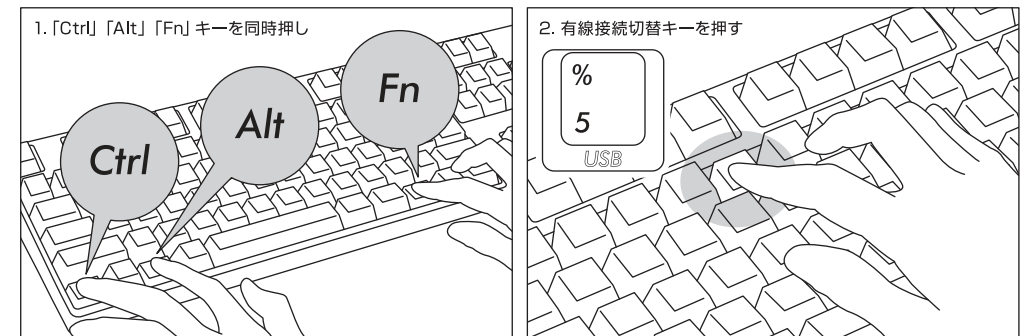


無線接続中に有線接続に切り替える

前項で設定したBluetooth接続・USB給電の状態から、キー操作のみでUSB接続に戻ることができます。

高レスポンスが必要なアクションゲームをプレイする場合や、長時間高速タイピングを行う場合は、USB接続での使用を推奨します。

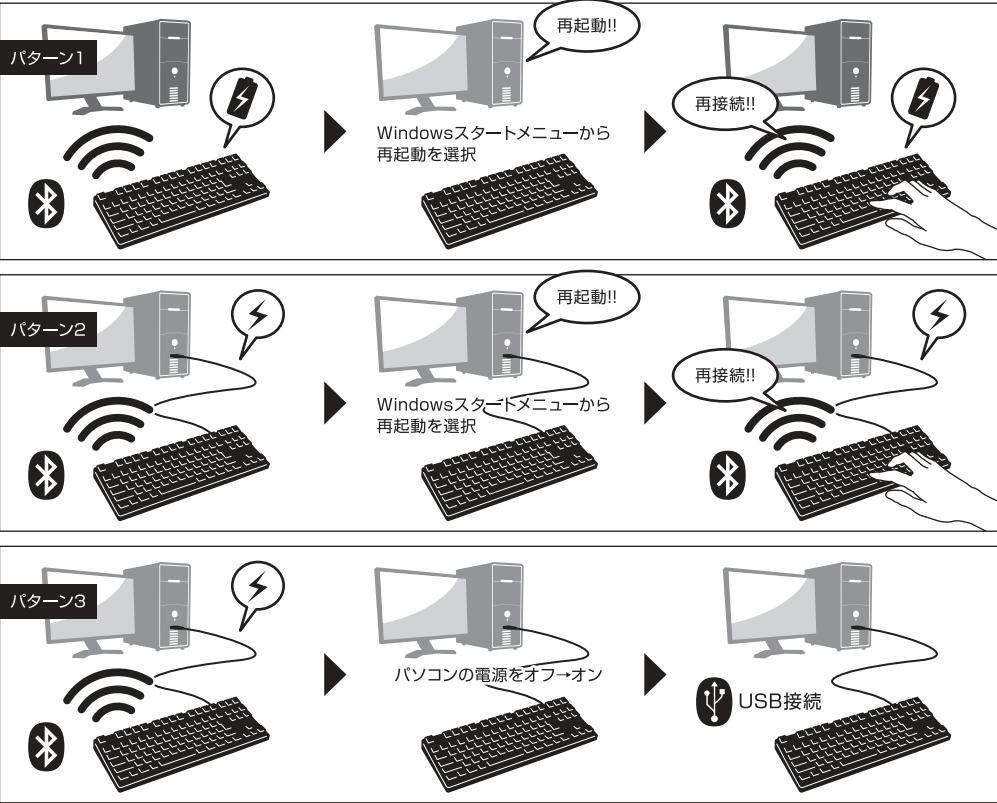
1. 「Ctrl」+「Alt」+「Fn」キーを同時押ししてデバイス切替モードにします。
2. 有線接続切替キー (キー前面に「USB」と印字されています) を押します。



3. ペアリングLED (青) とレベルチェックLED (赤) が交互に約4秒間点滅します。
4. USB接続のキーボードとしてパソコン側に認識され、LED消灯後にキーボード操作が可能となります。LED表示はCapsLock、ScrollLockのオン/オフに切り替わります。

その他

- Bluetooth接続中かつ電池駆動中にパソコン本体をスタートメニューから再起動させた場合は、パソコン起動後にキーボードのいずれかのキーを押せば自動で再接続されます。(パターン1)
- Bluetooth接続中かつパソコンのUSBポートからUSB給電中にパソコン本体をスタートメニューから再起動させた場合も、パソコン起動後にキーボードのいずれかのキーを押せば自動で再接続されます。(パターン2)
- パターン1、パターン2でBluetoothの再接続が確立した時はペアリングLED (青) とレベルチェックLED (赤) が3回同時点滅します。
- Bluetooth接続中かつパソコンのUSBポートからUSB給電中にパソコン本体の電源をオフにし (シャットダウン)、その後改めて電源をオンにした場合は、有線接続が優先されてUSB接続として認識されます。(パターン3)

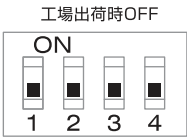


- Bluetooth接続中にBluetooth受信アダプタ (Bluetooth dongle) を一度抜いて、再度差した場合は、キーボードのいずれかのキーを押せば自動で再接続されます。再接続が確立した時はペアリングLED (青) とレベルチェックLED (赤) が3回同時点滅します。
- マルチブート環境下での動作について
1台のパソコンに複数のWindows OSを組み込んだマルチブート環境下でUSB接続によるBIOS設定後、ブート画面のOS選択時において、まれに「↓キー」が効かなくなることがあります。これはBIOS設定後の再起動がキーボードのデータ読み込みよりも前にWindowsのプログラムに入ってしまうことに起因しますので製品の不具合ではありません。
任意のOSを選択できなかった際はもう一度再起動してください。
ブート画面のOS選択時はまだOSが起動していないので仕様上Bluetooth接続を確立できません。USB接続でOSの選択をしてください。
Bluetooth接続はマルチブート環境下のパソコンでは1つのOSのみで登録/機能します。登録情報は他のOSには反映されません。また、OSごとにBluetoothデバイス登録キー①～④を割り当て、切り替えて使用するという設定もできません。
例) Windows7とWindows8がインストールされているデュアルブート環境下で、
Bluetoothデバイス登録キー①にはWindows7を登録
Bluetoothデバイス登録キー②にはWindows8を登録 といった設定はできません。
一度キーボード側・デバイス側の両方から登録情報を削除し、新たに選択したOSで再度接続設定作業 (ペアリング) が必要となります。

使用する

◆ DIPスイッチによるキーファンクション変更操作

本体裏面のDIPスイッチを操作することで、キーコードを変更したり無効化したりすることができます。工場出荷時は全てOFFになっています。DIPスイッチを操作する場合は、USBケーブルを外し、Bluetooth電源スイッチをオフにしてからおこなってください。パソコンに接続された状態や電源スイッチがオンの状態で操作すると故障や誤動作など不具合の原因となりますのでご注意ください。DIPスイッチを操作する場合は先の細い棒状のものをご利用ください。



DIP No.	91JP配列	89KR配列	87US配列	88EU配列
スイッチ1	Windowsキー(■)とアプリケーションキー(■)をロックし、無効にする			
スイッチ2	Caps Lockキーと左Ctrlキーを入れ替える			
スイッチ3	Escキーと半角/全角キーを入れ替える	Escキーと「`~」キーを入れ替える	Escキーと「!@」キーを入れ替える	
スイッチ4	Fnキー→ 上面: Altキー 側面: Appキー 2キー同時に 入れ替えます 上面: Appキー → Fnキー 側面: Altキー	上面: 右Winキー 側面: Appキー	Fnキー→ 上面: Appキー 側面: 右Winキー	

交換用キーキャップについて

DIPスイッチによるキーファンクションの変更操作を行った場合に必要となる、以下のキーキャップが同梱されています。FILCO Key Pullerを使って付け替えてください。

	91JP配列	89KR配列	87US配列	88EU配列
スイッチ2	Ctrl	CapsLock 英数	Ctrl	CapsLock
スイッチ4	Alt	Fn	Fn	

◆ メディアキーによるデバイス操作

Fnキーとの同時押しで、動画や音楽の再生、音量調整などをキーボード上から操作することができます。

キー表示	F1	F2	F3	F5	F6	F7	F8
機能	音量を上げる	音量を下げる	ミュート	前のトラックへ	再生/一時停止	停止	次のトラックへ

◆ Windowsスリープスタンバイモードの移行・復帰

有線接続中にFnキーとスリープキーの同時押しで、Windowsスリープスタンバイモードの移行/復帰をキーボード上から操作することができます。キー操作で復帰できるようにするには、以下の通り設定をします。
1. 「デバイス マネージャ」を開く
2. 「キーボード」をダブルクリック
3. 「HIDキーボードデバイス」をダブルクリック
4. 「電源の管理」タブをクリックして「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックをつけます。この時「電源の管理」タブが表示されない機種は対象外です。また、高速スタートアップ機能が有効の時は、解除できない場合があります。なお、Bluetooth接続時のWindowsのスリープスタンバイモードからの復帰は、Bluetoothの仕様上非対応となっています。あらかじめマウス操作などでWindowsスリープスタンバイモードを解除してからご使用ください。



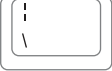
◆ 無線接続時の省電力モード

Bluetooth接続・電池駆動の状態ではキー操作が30分間行われない場合、自動的に消費電力を節約する省電力モードに移行します。省電力モードはキーボードのいずれかを押すことで解除され、自動的にデバイスとの接続が復帰します。約3～5秒で操作が可能になります。また、省電力モードはキーボードの電源オフ・オンでも解除されます。なお、USB接続中は省電力モードには移行しません。

◆ キー印字・キー配列と配列の変更について

US ASCII準拠配列 英語キーボードについて

US ASCII準拠配列の英語モデルをご用意しています。日本語配列とは操作が異なる部分があります。日本語環境Windows上での日本語入力操作(IMEを起動)、\\(バックスラッシュ)キー、変換キーは以下の表を参考にしてください。

操作方法	 + 		スペースキー
機能	半角／全角キー (日本語入力切替)	¥マーク	変換キー

日本語キー配列への設定変更 (英語配列として認識されてしまった日本語配列キーボードを、正しく認識させなおす)
OSによっては、なんらかの原因で日本語配列のキーボードが英語配列のキーボードとして認識されるケースがあります。この場合、@キーを押しても他の記号が入力される、Shift+2キーで「@」が入力される、Shift+7キーで「&」が入力される、などの現象が発生しますが、以下の方法で修正することができます。

① PS/2キーボードをお持ちでパソコンに接続可能な場合、ノートパソコンの場合

1. コントロールパネル>キーボードを選択します。
2. ハードウェア>デバイス欄>「101／102英語またはMicrosoft Natural PS/2キーボード」、7/8/8.1/10では「標準PS/2キーボード」を選択しプロパティをクリックします。
3. 設定の変更>ドライバ>ドライバの更新をクリックします。
4. XP 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択して次へをクリックします。
Vista/7/8/8.1/10 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します」をクリックします。
5. XP 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択して次へをクリックします。
Vista/7/8/8.1/10 「コンピュータ上のデバイス ドライバの一覧から選択します」をクリックします。
6. XP 「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外し、製造元は「標準キーボード」、モデルは「日本語PS/2キーボード (106/109キー ctrl+英数)」を選択して次へをクリックします。
Vista/7/8/8.1/10 「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外し、製造元は「標準キーボード」、モデルは「日本語PS/2キーボード (106/109キー)」を選択して次へをクリックします。
7. ドライバの更新警告画面が出ます。はいをクリックします。
8. ドライバがインストールされます。
9. ドライバのインストールが完了したら完了をクリックします。
10. 再起動後日本語キーボードとして機能します。

② PS/2キーボードをパソコンに接続できない場合

- a. レジストリデータをダウンロードし設定する
ダイヤテックWEBサイトよりレジストリデータをダウンロードし、設定を変更します。
ダウンロードしたファイルをダブルクリックした後再起動します。
- b. レジストリデータを書き換え設定する
 1. XP、Vistaではスタートメニューから、8/8.1では全てのアプリ一覧から、10では左下の「スタートボタン」を右クリックして「ファイル名を指定して実行」を選択します。
 2. 名前欄に「regedit」と入力し、「OK」をクリックします。
7ではプログラムとファイルの検索の欄に「regedit」と入力し、プログラムをクリックします。「変更を許可しますか?」の確認画面で「はい」をクリックします。
 3. レジストリエディタが起動します。
画面左より項目を選択します。

```
マイコンピュータ(またはコンピュータ)
├ HKEY_LOCAL_MACHINE
│ └ SYSTEM
│   └ CurrentControlSet
│     └ Services
│       └ i8042prt
│         └ Parameters
```

4. 名前「LayerDriver JPN」をダブルクリック、値のデータを「kbd106.dll」に書き換えOKをクリックします。
5. レジストリキーを新たに追加します。すべて半角文字で大文字／小文字を正しく入力してください。

編集>新規>文字列値
名前: OverrideKeyboardIdentifier 値のデータ: PCAT_106KEY

編集>新規>DWORD値
名前: OverrideKeyboardSubtype 値のデータ: 2 表記: 16進
名前: OverrideKeyboardType 値のデータ: 7 表記: 16進

※すでに左記のデータがある場合は追加は必要ありません。

6. レジストリエディタを終了します。
7. パソコンを再起動します。

【重 要】

この方法でレジストリデータの設定変更を行う場合は、必ずシステムの復元でレジストリのバックアップを行い、設定を変更する前の状態に戻せるようにしてから行なってください。

英語キー配列への設定変更 (日本語配列として認識されてしまった英語配列キーボードを、正しく認識させなおす)
英語配列への設定は前項「日本語キー配列への設定変更」を参考にしてください。

① PS/2キーボードをお持ちでパソコンに接続可能な場合、ノートパソコンの場合

前項2. の項目「日本語 PS/2キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」と「101/102英語またはMicrosoft Natural PS/2キーボード」を入れ替えて作業します。

② PS/2キーボードをパソコンに接続できない場合

- b. レジストリデータを書き換え設定する
 1. ～3. まで同じ作業をする。
 4. 名前「LayerDriver JPN」をダブルクリック、値のデータを「kbd101.dll」に書き換え OK をクリックします。
 5. 以下の名前データを削除します。選択>右クリック>削除で削除してください。

OverrideKeyboardIdentifier
OverrideKeyboardSubtype
OverrideKeyboardType

6. レジストリエディタを終了します。
7. パソコンを再起動します。

◆ iPad・iPhoneに接続して使用する場合（【重要】欄を必ずお読みください）

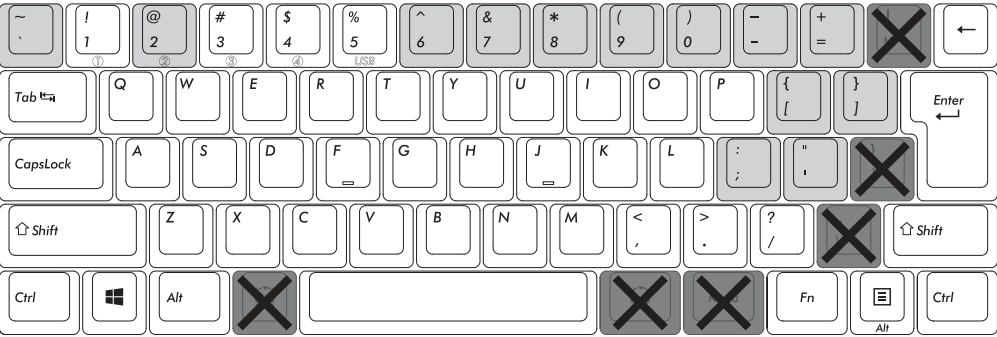
1. キーボードを「ペアリングモード」にします。（※8ページ 【手順①】）
2. iPad・iPhoneのホーム画面から「設定」>「Bluetooth」の順にタップし、Bluetoothを「オン」にします。
3. デバイス一覧に「Convertible 2」が「未接続」と表示されます。タップして、画面に表示されたコードをキーボードから入力し「Enter」キーを押します。
4. デバイス一覧の「Convertible 2」が「接続済み」と表示されたらペアリングが完了します。
5. iPad・iPhoneのホーム画面から「設定」>「一般」>「キーボード」>「各国のキーボード」の順にタップし、「日本語 ローマ字」があればタップします。ない場合は「新しいキーボードを追加...」>「日本語 ローマ字」の順にタップします。
6. ハードウェアキーボード配列の項目で「U.S.」にチェックを入れます。（ローマ字入力の場合）
7. ホームボタンを押して設定を終了します。
 - ※ iOS 9.2.1で検証しています。それ以前のiOSでは検証していません。
 - ※ Bluetoothキーボードを使っている間は、ソフトウェアキーボードは画面に表示されません。
 - ※ iOS 9では「Ctrl」＋「スペースキー」によって入力モード（キーボード）を切り替えます。押すごとに入力モードが切り替わり、現在選択されている入力モードは青色で表示されます。

【重要】

iOSの機器にアップル純正以外の「日本語配列」のキーボードを接続すると「英語配列」のキーボードとして認識されます。これはiOSの仕様によるもので、キーボードの不具合ではありません。
英語配列キーボードとして認識されると記号の位置が変わってキー印字とは異なる文字が入力されたり（「@」や「"」など）、押下してもキーが反応しない場合がありますので、予めご了承ください。配列図をご参照いただくと便利です。

英語配列のキーボードとして認識された場合のキー配列図

グレーに色付けされているキーは記号などの位置が変わったキーです。この図のように入力されます。
×印がついているキーは押下しても何も入力されません。



- ※ 上図は弊社独自の検証結果ですので、アップルジャパン株式会社への問い合わせはご遠慮ください。
- ※ 「かな入力」は入力できない文字があるためサポートいたしません。
- ※ 「半角／全角」「無変換」「変換」「カタカナひらがな」は動作しません。またPrint ScreenやHome・Endなど動作しない装飾キーがありますが検証いたしません。
- ※ 右表のショートカットが利用できます。

ショートカット	
Shift + 左右カーソル	範囲選択
⌘ (Win) + A	全て選択
⌘ (Win) + X	カット
⌘ (Win) + C	コピー
⌘ (Win) + V	ペースト
⌘ (Win) + Z	アンドゥ（操作の取消）

◆ トラブルシューティング

- Q. 電源が入りません。
電池の向きを確認して下さい。
電池が消耗した可能性があります。新しい電池に交換して下さい。
- Q. ペアリングができません。Bluetooth機器を検索する画面でキーボードが表示されません。
 - ・キーボードの電源スイッチがオンになっているか確認して下さい。
 - ・電池の向きを確認して下さい。電池が消耗してる場合は新しい電池に交換して下さい。
 - ・キーボードの「Ctrl」「Alt」「Fn」キーを同時押ししてデバイス切替モードにします。デバイス情報を登録したい「Bluetoothデバイス登録／切替キー①～④」のいずれかを押しペアリングLED（青）が点滅していることを確認して下さい。
 - ・キーボードのデバイスクリアボタンを押してペアリングLED（青）が点滅していることを確認して下さい。
 - ・Bluetooth受信アダプタ使用時は、正常にセットアップされ動作しているかどうか確認して下さい。
 - ・パソコンに内蔵するBluetooth機能を使用する場合は、設定がオンになっているかどうか確認して下さい。
- Q. EnterキーやShiftキーなど大型のキーが他の小さいキーと比べて感触が違うように感じられます。
大型キーの動作は仕様です。
大型キーはどの部分を押してもキースイッチが上下運動できるように「スタビライザー」を搭載しています。
- Q. パソコンの電源投入直後、Bluetooth接続でBIOS操作やOSの選択ができません。
Bluetooth2.1以降のアダプタにはペアリング設定後、バスキーのパラメータがアダプタ内部に登録され、OS起動前でもBIOS画面やOS選択画面で操作できる機能を持ったものがあります。
この機能を持たないBluetoothアダプタではWindowsが起動する前は操作できません。必要時はUSB接続、またはPS/2接続できる他のキーボードにて操作して下さい。
これはアダプタ側の機能ですので、ご不明な点はアダプタの製造元サポートにご確認下さい。
- Q. セーフモードでBluetooth接続できません。
セーフモード中にBluetooth接続はご使用になれません。
- Q. Bluetoothアダプタを抜き差しした後、キーボードが動作しません。
Bluetoothアダプタを抜き差しした後は、いずれかのキーを押せば自動で再接続します。
- Q. Windowsのスリープスタンバイモードから復帰できません。
Bluetooth接続時は、Windowsのスリープモードからの復帰はBluetoothの仕様上非対応となっています。あらかじめマウス操作などでWindowsスリープスタンバイモードを解除してからご使用下さい。
- Q. 他のWindowsで使用できますか？
BluetoothアダプタはWindows10、Windows 8/8.1、Windows 7、Windows Vista、Windows XP SP2以降の標準機能で動作するものです。他のWindowsシステムではご使用になれません。ドライバやソフトウェアによる対応はおこなっておりません。
- Q. Bluetooth接続時、キーボードの動作が異常となる時があります。
電波送受信範囲は、使用環境によって異なります。パソコンやキーボードの近くに電子レンジ、ワイヤレスネットワーク製品、コードレス電話などの電波干渉が発生する環境がある場合、正常に動作しない可能性があります。
- Q. 文字入力が正しく行われないことがあります。
以前に使用していたキーボードのソフトウェアが残っている場合はアンインストールして下さい。古い設定が残っていると動作障害となる場合があります。
- Q. キーボードが頻繁に反応しなくなったり、最後に入力した文字が連続で入力されたりします。
同じ周波数帯域を使用した無線機器が電波の届く範囲に多数存在する場合、混信による通信の切断が発生している可能性があります。
ご使用のBluetoothアダプタに同梱された専用ソフトやドライバは高性能で扱いやすくなっていますが、混信が発生しやすい環境で頻繁に通信の切断が発生する場合があります。
このような場合は、専用ソフトやドライバをアンインストールしOS標準のソフトやドライバで動作させると不具合の頻度が明らかに減った、という実績が多数確認されています。

EN User manual

◆Attention Items During Use	20
◆System Requirements	21
◆Product Overview	21
◆Parts and Accessories	22
◆Function of Switches/LED Indicator Lamps	23
How to Connect	
◆Selecting Connection Methods	24
◆Connect to Personal Computer Via Cable	24
◆Connect to Personal Computer Via Wireless	24
[Procedure 1] Switching to Pairing Mode from Keyboard	26
[Procedure 2] Installing Bluetooth Device (Pairing Mode)	27
[Procedure 3] Setup from 2nd Unit Onwards	29
◆Changing or Removing Bluetooth Devices	29
Usage Methods	
◆Modifying the Function of the Key through the DIP Switch Configuration	33
◆Media Keys Device Operations	33
◆Windows Sleep and Standby Mode Toggle/Resume	33
◆Wireless Connection Power Saving Mode	34
◆Connecting to iPad/iPhone	34
◆Troubleshooting	34

Thank you for purchasing the FILCO Majestouch Convertible 2 Bluetooth Keyboard. Please read carefully the Attention Items published in this manual.

◆Attention Items During Use

- To begin installation, please register using an account that has administrator privileges.
- This product is applicable only for general usage within the office or at home. Please do not use this product with medical facilities and financial systems, computer systems, nuclear power facilities where there might be direct or indirect impact to life, or in an environment that requires a high level of security and reliability, or an environment that directly impacts military defense objectives. Our Company will not be liable for any losses incurred from any of these above actions.
- Our Company will not be liable for any losses incurred by external factors, such as product malfunction, connectivity failure, bad communication, power outage, or interference by a third party resulting in lost communication opportunities.
- Our Company will not be liable for any losses incurred due to interception of communications, leaked information, tampering or destruction by a third party.

Attention Items During Communication

- Please use in an environment where there are no obstructions and where there is good reception. The distance for reception may vary, depending on the building structure and influence from obstructing objects. When sandwiched between steel, metals and concrete, the signal might not come online.
- If user moves to a location where there is an obstruction to the communication and where there is no wireless signal, under such circumstances, the communication connectivity will be terminated.
- During connection, please ensure a distance of at least 2m away from any AV or OA equipment. In addition, microwaves tend to influence signals. Therefore, during connection, please maintain a distance of at least 3m away, or else the connection will not be successful.
- IEEE802.11g/b wireless LAN mechanism and the Bluetooth mechanism in our product uses the same frequency (2.4GHz), if the distance is too near during use, it might result in wave interference, affecting connection speed or unable to connect. Under such circumstances, please switch off the power of the device that is not in use.
- Electromagnetic waves are emitted from this product or other Bluetooth devices, please do not use in the vicinity of a television or radio, as it might interfere with the transmission of sound or images.

Safety Items

- Battery Usage
 - Please place in a location that is out of reach from children.
 - Please do not add heat to the batteries. Please do not open up the batteries or place them in water.
 - Please do not mix usage of new and old batteries. In addition, please do not mix usage of different types of batteries (such as mix usage of alkaline batteries and manganese batteries).
 - Stop usage of expired or insufficient power batteries, and please dispose used batteries according to the local regulations or in a manner stipulate by the regulations of the administrative authorities.
- Keyboard Handling
 - Please place on a flat smooth surface to avoid dropping accidentally or otherwise. The keyboard is a precision machine,

comprising of internal batteries and transformer. Therefore, please handle with care, and avoid spilling beverages or liquid into the interior of the keyboard.

- Please do not dismantle or modify. Please do not tear off or modify the original factory maintenance label to avoid affecting the terms and conditions of warranty.
- Under the following circumstances, either temporarily stop or completely stop the use of the product. Under the influence of the electronic waves, equipment might not operate properly and accidents might happen.
 - in the vicinity of a cardiac pacemaker
 - in the vicinity of medical institutions or medical electronic equipment
 - inside an airplane cabin
 - the use of this product interfered with the electronic waves of other devices
- The terms and conditions of the warranty of this product is restricted to the country of purchase. If the product was purchased in Japan, the terms and conditions of Diatec Corporation Japan will apply; if the purchase is made through an overseas representative, then the maintenance terms and conditions of that representative will apply. In addition, the warranty in this user manual is applicable and effective only within Japan.

Health Issues Attention Items

If you have been using a mouse, keyboard, trackball mouse for a prolong period of time, the stress to your hand, wrist, head or shoulder might result in pain or numbness in these areas. If you continue to use repeatedly, it might result in serious injuries. When you encounter any of the above-mentioned discomforts, please stop using the mouse and keyboard immediately, and it is recommended that you consult a professional doctor. When using a personal computer, please rest periodically, and please take care not to add stress to your hand, wrist, head and shoulder.

◆System Requirements

PC : When installing with a wired connection, please use a Windows PC that has a USB port.

OS : Windows XP Service Pack 2 or higher version, Windows Vista, Windows 7, Windows 8, Windows 8.1, Windows 10

If using Bluetooth connection, the personal computer must be equipped with Bluetooth function or have a Bluetooth adapter. Nevertheless, due to toggling, there might be situations whereby it is unable to connect. Therefore, not all Bluetooth adapters are supported.

* When installing Bluetooth connection, please ensure to use the mouse for operations. When installing with a wireless connection, please use a Windows PC that has a Bluetooth HID Profile.

◆Product Overview

2way Keyboard USB wired connection and Bluetooth wireless connection

■ USB Connection

May use the USB cable supplied with the product for operations. (This product is not equipped with battery recharging function.)

■ Bluetooth Connection

This product uses the technique of standard Bluetooth Version 3.0 Class 2 Specification to enhance the power saving function of the personal computer during the connection. This way, a wireless operating environment may be enjoyed. The supported range for the product is within approximately 10m. Performing the computer connection setup is only required for the first time. Henceforth, future usage does not require installation setup. A maximum of four units of personal computers may be connected and toggled randomly.

Besides using power from batteries, power may also be supplied by the USB cable from the USB.

When using battery power, if there is no activity for more than 30 minutes, it will automatically enter into power saving mode, to save electrical consumption.

FR-4 2-Layer Circuit Board

We have introduced the new 2-layer printed circuit board FR-4 (fiberglass board), thus enhancing the basic performance.

All terminals are through-holes, and are securely soldered, so as to effectively prevent any influence from vibrations and loads to the base and copper foil wirings during typing. Therefore, this product has been improved for durability, reliability and keys operational performance.

Cherry MX Key Switch

Cherry MX key switch is a mechanical switch manufactured by ZF Electronics GmbH, Germany (formerly Cherry GmbH). Its depth differs from standard keyboards, it has more depth, the keystroke depth is approximately 4mm, the actuation point is at approximately 2mm, and it has a higher spring distance. Because this product has an independent key switch, therefore the operation of the key is brisk.

Changing the Function of a Key through the DIP Switch

Through the setting of the DIP switch, you may change the [CapsLock] key and [Left Ctrl] key, and also lock [Windows] key and one [App] key.